

# 海陽だより

荒尾海陽中学校  
第11号(R6.11.1)  
「挑戦！ 一步前進」

文責：校長



日本では、旧暦11月を『霜月（しもつき）』と呼び、現在では新暦11月の別名としても用いています。「霜月」は文字通り霜が降る月の意味で「霜降月（しもふりつき）」の略で「霜月」となりました。11月7日は『立冬』で「冬が立つ」と書くように、冬の兆しが見え始める頃。空気がぐっと冷たくなり、冬の気配を感じる時期です。本格的な冬に向け準備を始める時期。衣類や寝具のみならず、暖房器具もそろそろ準備しておきたいですね。とは言っても、まだまだ寒暖の差がありますので体調には気をつけましょう。

## ♪♪ 合唱コンクール & 学習発表会

18日本校体育館で合唱コンクールが行われました。これまでに朝の始業前や放課後に時間を使って、どの教室からも爽やかな歌声が聞こえていました。普段よりも早めの登校とあって、朝ご飯も少し早く準備しなくてはならなかったご家庭も多かったのではないのでしょうか。ご協力ありがとうございました。

合唱コンクール当日も、多くの保護者の方々に来校いただきありがとうございました。生徒たちは緊張の中、練習してきた成果を出し切っていたと思います。結果、各学年の優勝が決まりましたが、これまでにクラス一丸となって頑張ってきた過程が重要で、すべての生徒たちに敢闘賞を贈ります。

★最優秀賞：1年1組 ★最優秀賞：2年2組 ★最優秀賞：3年4組 ★優秀賞：3年1組



20日の学習発表会では、吹奏楽部の素晴らしい演奏から始まり、学習発表会に花を添えてくれました。これまで頑張って練習してきた思いが込められた素晴らしい演奏でした。

続いての人権作文発表では、1学年代表は○○○さん、2年代表は○○○さん、3年代表は○○○さん

○○○さんが、それぞれ人権学習で学んだことや考えたこと（男女差別、海陽中の風評、さらに自分の体験したつらかったこと等）を発表してくれました。その発表に対してフロアから返しの言葉や感想を学年問わず、多くの生徒が発表をしてくれました。とても心温まる時間でした。



最後に合唱コンクールで最優秀賞（3年生は優秀賞を含む）に輝いたクラスが学年代表として見事なハーモニーを響かせてくれました。どのクラスも迫力があり、鳥肌が立つ合唱でした。休みの日にもかかわらず多くの方々に来校いただき、ありがとうございました。全4クラスに優勝をあげたかったのですが、結果は、

**学校代表クラス：3年4組！！おめでとうございます！！**

11月6日の玉名荒尾音楽会に向けて、さらに磨き上げ、学校代表として誇りを持って頑張ってきてください。海陽中の素晴らしさを発信してください。



## ～特別支援学級の校外学習～

25日に特別支援学級の校外学習が行われました。荒尾駅から9時06分の電車に乗り「大牟田市石炭産業科学館」行きました。炭鉱では、これまでに万田炭鉱について学習はしていますが、石炭についてさらに学習することができました。次に、大牟田イオンモールに移動し、まず、範囲内での金額でお楽しみの昼食をとりました。その後、おうちの方から頼まれた買い物をするために店をさがし、お金を計算して買い物をすることができました。日頃、あまり見れない生徒たちの笑顔と真剣に学習する生徒たちの姿を見ることができました。

## ～ふれあいクリーン大作戦の感想～

これまでに、ふれあいクリーン大作戦について掲載してきましたが、先日、訪問した高齢者の方々から評価アンケートをいただきました。意見・感想を紹介します。

### 【高齢者のお宅から】

- 作業内容は希望に応じて活動してもらった。天気で暑かったですが元気に草取りをしてもらいありがとうございました。きれいになりました。
- 4名の生徒さんは仲良く、お互い意見を出し合いながら上手に草を刈ってくださいました。日頃、飛石が重たくて苦勞しておりましたが、力持ちの生徒さんが軽々と持って移動してくださり、助かりました。
- 若い方のかせで大変助かりました。私たち夫婦共々高齢者となり、こういう訪問、ふれあいは大変有意義だと思います。日中の暑い中、皆さんどうもありがとうございました。
- ありがとうございました。皆さんのおかげで、本当に助かりました。
- 素直で良い子たちと一緒に作業ができ楽しかったです。人や社会のために何かのお手伝いができることは、自分のためにもなるということに気づいてくれたらと思います。
- 暑い中、黙々と頑張ってくれました。おかげできれいになりました。ありがとうございます。
- 取りにくい草も、負けずに取ってくれました。私の要望も聞いてくれて大変良かったです。助かりました。生徒さんたちも笑顔で、大変気持ちよかったです。

## PTA学年行事で浦田理恵さんの講演



23日13時30分から浦田理恵さん来校いただき、演題は「一歩踏み出す勇気～自分が変われば世界が変わる～」で講演していただきました。20歳過ぎてから、視力が落ち、視野もだんだん狭くなる病気にかかり、現在はほぼ何も見えない浦田さんですが、最初はそのことを誰にも言えず苦しい苦しい生活を送られています。しかし、目が見えないことを勇気を持ってやっとの思いで母親に打ち明け、その後友達にも言えるようになってからは、これまでの考えを180度変えて前向きに生きていらっしゃいます。周りからのサポートに感謝しながら自分と向き合い、「目が見えないなら自分に何ができるか」と積極的に行動に移されています。そこで『ゴールボール』というスポーツに出会い、努力を重ねてパラリンピック日本代表として活躍されました。ロンドンパラリンピックで金メダル、東京パラリンピックで銅メダルを受賞されています。本物のメダルも見せていただき、感動しました。

浦田さんは、そのような経験から4つの提言をされました。

- ①自分の夢を叶えるために自分から勇気を持って一歩踏み出すことが大切。【勇気】
- ②自分を大切にし、相手のことも大切にするコミュニケーションが大切。【言葉】
- ③自分の限界を決めつけてはいけない。【限界】
- ④いつも「ありがとう」の感謝の気持ちを持つ。感じる。【感謝】

とても心の響く講演でした。これからの生活に、ぜひ生かしていきましょう。